

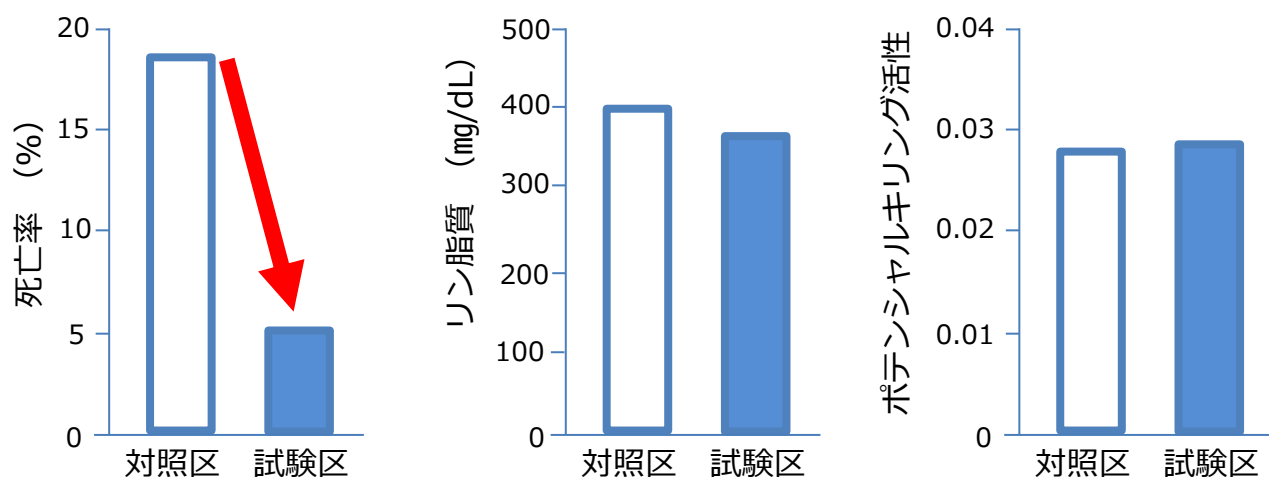
マハタに対するショウガ粉末原料の投与効果

高水温による魚病の発生

- 平成29年8月に始まった黒潮大蛇行等の影響により、高水温が常態化
- 高水温等の影響で、マハタではハダムシ症、ウイルス性神経壊死症などが多発
- 魚病による死亡率を低減させる対策が喫緊の課題

ショウガ粉末等の原料を投与することで魚病被害を低減できるか

- マハタに対して、免疫を活性化する効果が期待できるショウガ粉末等の原料を展着させたEP（エクストルーデッドペレット）を用いて152日（水温23.2-29.8℃）投与し、死亡率と血液の性状（ヘマトクリット値、リン脂質、NBT還元能、ポテンシャルキリング活性）を非投与区（対照区）と比較しました。
- 投与区と対照区で血液の性状に差はありませんでしたが、**死亡率は投与区の方が半分以下に抑えられました**。（主な死亡原因はウイルス性神経壊死症と診断）



ショウガ粉末等を投与することで
**マハタの耐病性を向上させ、
死亡率を抑える効果が期待できる**



三重県水産研究所 尾鷲水産研究室

Mie Prefecture Fisheries Research Institute

〒519-3602 尾鷲市大字天満浦字古里215-2 TEL (0597)22-1438 FAX(0597)22-1439

(2025年5月発行)